



令和3年度 神戸市立和田岬小学校

学校だより

【目指す子供の姿】

自分で考え、みんなで学ぶ子
違いを認め合う思いやりのある子

10月号

「本気」「絆」「夢」あふれる和田岬小学校 [令和3年10月1日発行]

「〇〇の秋」～何かに熱中してみませんか～

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言いますが、最近は過ごしやすくさわやかな毎日が続いています。9月の休日に車で走っていると、稲刈りをする光景を見かけました。昔から日本では、二十四節気の寒露のころを境に、五穀の収穫がたけなわになります。同時に、秋の色彩が色濃く紅葉の美しい時期を迎えます。

10月は「神無月」と言われ、1年を通してもっとも過ごしやすく物事に集中しやすい季節です。「〇〇の秋」とはよく言ったもので、運動や学習に適した季節で何をしても頑張れそうな気がします。ちなみに昨年の私は「読書の秋」を満喫していました。学校司書に紹介してもらった本を、通勤電車の中で読み始めたのがきっかけでした。続きが気になって就寝前にも読むほどだったことを思い出します。今年の「〇〇の秋」はどんな秋を楽しもうかと迷っている毎日です。

ところで、なぜ「神無月」と言われるのでしょうか。御存じの方も多いと思いますが、文字のとおり「神様のいない月」です。日本中の神様が島根県の出雲大社に出向き、集まって会議をするのです。だから島根県の出雲以外には神様がいなくなってしまう、各地の神社は「留守神様」が守っているそうです。驚くべきはこの次です。反対に神様が集まっている出雲地方だけは、「神無月」とは言えないはず。そこでこの地方では、10月を「神在月(かみありづき)」と呼んでいるそうです。また、姿の見えない神様が、この時期にどこを通られるのかわからないため、間違っ神様を傷つけないように包丁などの刃物を使わないようにという言い伝えもあったそうです。私たちが使っている言葉をはじめ、その土地によって変化しているものも多いようです。今のコロナ禍での生活が少し落ち着いたなら、和田岬ならではの貴重な歴史や文化などにも触れてみたいと思います。

さわやかな空気の中、活動しやすい時期になりました。物事に集中しやすくなるこの時期。新しいことを始めたり何かに挑戦したり、皆さんも自分なりの「〇〇の秋」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

校長 野田 美保

「10月の行事予定」

1(金)		17(日)	
2(土)		18(月)	朝会
3(日)		19(火)	SC相談日 修学旅行説明会
4(月)	朝会 楽器搬入6年	20(水)	4年モルック講習会 クラブ活動
5(火)	SC相談日 視力検査 1・2年 徴収金振替(1)	21(木)	歯科検診(全)
6(水)	委員会活動 視力検査 3・4年	22(金)	4年命の体験教室
7(木)	視力検査 5・6年	23(土)	
8(金)		24(日)	神戸市長選挙(予定)
9(土)		25(月)	朝会
10(日)		26(火)	SC相談日
11(月)	朝会	27(水)	徴収金振替(2)
12(火)	SC相談日	28(木)	音楽交流会 自然学校説明会
13(水)	PTA本部会	29(金)	4年UD出前授業
14(木)	4年青少年科学館	30(土)	
15(金)		31(日)	
16(土)			

お知らせとお願い



「緊急事態宣言解除に伴う対応」

教職員で共通理解を行い、引き続き感染防止に努めながら、教育活動をすすめていきます。

①再開するもの

- ・委員会活動、クラブ活動
- ・校外学習、訪問授業等
- ・休み時間の自由遊び
- ・他学年や他クラスとの交流
- ・放課後学習や放課後遊び
- ・タブレットの学校保管

②検討中のもの

- ・授業参観、懇談会

③継続すること

- ・毎日の検温、体調管理
- ・風邪症状および、腹痛・嘔吐・下痢など、体調不良の際に、登校を控えること（同居家族の症状の場合も含みます）
- ・3密を防いだ教育活動

「修学旅行・自然学校説明会」

修学旅行と自然学校については、今年度も、感染防止対策を徹底した上での実施となります。

安心してご参加いただくためにも、ぜひご来校いただきまして、ご意見ご質問をお願いします。

なお、当日は、同意書にご記入いただきますので、筆記用具と印鑑をご持参ください。

10/19(火)15:00～修学旅行説明会 多目的室
10/28(木)16:00～自然学校説明会 5年1組

「11月の主な行事予定」

- ・6(土) ワダミコンサート 8(月)代休
- ・9(火) 交通安全教室【1・2年】
- ・14(日)～15(月) 修学旅行
- ・18(木) 就学時健康診断
- ・25(木)～27(土) 自然学校
- ・30(火) 防犯教室【1・6年】

※10月、11月とも感染状況により予定を変更する場合があります。

「令和3年度全国学力・学習状況調査 神戸市学力定着度調査」の結果について

昨日結果が提供されました。4～6年生児童の結果については、お子様を通じて保護者の皆様へお渡ししています。

〈教科、児童質問紙の結果〉

〈今後の改善策〉

	〈教科、児童質問紙の結果〉	〈今後の改善策〉
国語	<ul style="list-style-type: none">・「書くこと」に課題が見られる。文章を構成して表現する力が十分でない。・漢字を書くこと、主語と述語の関係、修飾語の使い方、ことわざ、ローマ字表記など、言葉の力が十分でない。	<ul style="list-style-type: none">・自分の考えを明確にして文章に表す機会を増やす。字数や文章の構成などの条件下でも、書く活動を取り入れる。・既習漢字を使う指導を継続し、確認テストを繰り返す。デジタルドリルやみんなの学習クラブを活用し、知識の定着を図る。
社会	<ul style="list-style-type: none">・知識を問われる問題の正答率が低く、知識の定着に課題がみられる。	<ul style="list-style-type: none">・デジタルドリルや問題データベースを活用し、知識の定着を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none">・求め方や自分の考えを表す力がついてきたが、活用力があまり身についていない。・長方形、直方体、直角三角形など、図形領域の理解に課題がみられる。	<ul style="list-style-type: none">・図や自分なりの言葉で、ワークシートに書き表す活動を継続し、全体への対話へとつなげていく。・実物に触れることやデジタル教科書を活用しながら、イメージをもちやすくする。
理科	<ul style="list-style-type: none">・基礎的な知識・技能を問われる問題の正答率が低く、知識の定着に課題がみられる。・観察、実験に必要な技術や事柄、目的を十分に理解できていない。	<ul style="list-style-type: none">・デジタルドリルや問題データベースを活用し、知識の定着を図る。学習したことを普段の生活に関連付け、振り返る機会を設ける。・観察や実験のめあてを明確にし、予想や考察を丁寧に行う。
質問紙	<ul style="list-style-type: none">・予習、復習をしている児童の割合が低い。・テレビやゲームに費やす時間が長い。	<ul style="list-style-type: none">・自分のための学習として何が必要で効果的かを考えさせ、自主学習の取り組み方を改める。・長さや健康被害について考える時間をつくる。

本校の児童は、無回答の割合が低く、あきらめずに最後まで問題に取り組んでいました。今回分析した結果を今後の授業改善に活かしていきます。